

記者各位

出光興産株式会社  
郵船出光グリーンソリューションズ株式会社

## CO<sub>2</sub>削減に貢献するボイラ制御最適化システム「ULTY-V plus」 台湾プラスチック社で海外初の採用

出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木藤俊一)が日本郵船グループと出資する郵船出光グリーンソリューションズ株式会社※(本社:東京都港区、代表取締役社長:土屋恵嗣)は、台湾プラスチック社(Formosa Plastics Corporation、本社:台湾 台北市)と、ボイラ制御最適化システム「ULTY-V plus(アルティ ヴィ プラス)」6基の納入契約を、このたび締結しました。「ULTY-V plus」は国内では約100基の導入実績を有しますが、海外への納入決定は今回が初めてです。

「ULTY-V plus」は、AI(人工知能)を活用することで、燃料投入量調整や蒸気圧力調整などの一連の動作を「自己計測」、「自己分析」、「自己判断」で行う完全自己完結型制御システムです。発電所や工場で使用されるボイラに装備することで、最適な運転を実現します。今回の「ULTY-V plus」の導入により、台湾プラスチック社は、約1.0%の燃料量削減(6基合計の燃料量削減量:約90千トン/年)と6基合計でCO<sub>2</sub>削減換算量:約234千トン/年となる見込みで、経済性向上と環境負荷低減が期待できます。

台湾プラスチック社は、出光興産(株)と機能化学品事業で提携関係があり、今回の納入先となる麦寮工場で稼働中の石炭火力発電ボイラにて「ULTY-V plus」の評価を行ってきた結果、燃焼効率向上による燃料使用量削減効果を実証しました。

### 【契約内容】

- 会 社 名:FORMOSA PLASTICS CORPORATION(台湾プラスチック社 本社台北市)
- 発 電 施 設:麦寮工場 石炭ボイラ 6基 (600MW/基)
- 導入完了時期:2020年度中

郵船出光グリーンソリューションズ(株)は、「ULTY-V plus」を始めとした環境技術の開発、コンサルタント業務等を通じて、国内外でのCO<sub>2</sub>削減に貢献することを目指します。

※国内および中国・台湾・ベトナムなどへの「ULTY-V plus(アルティ ヴィ プラス)」販売強化を目的として2019年3月設立

出資:出光興産(株)、郵船商事(株)、日本郵船(株)

事業内容:ボイラ制御最適化システムに関する販売事業、改良開発事業、コンサル事業他

URL: <https://nyk-idemitsu-gs.co.jp/>

- お問い合わせ -

出光興産株式会社広報部

[https://www.idss.co.jp/contact/advertising\\_flow/index.html](https://www.idss.co.jp/contact/advertising_flow/index.html)

郵船出光グリーンソリューションズ株式会社

<https://nyk-idemitsu-gs.co.jp/contact/>

## - 参考 -

### 1. ULTY-V plus の概要

- ・商品名：ボイラ制御最適化システム「ULTY-V plus」
- ・対象設備：石炭ボイラ（微粉炭燃焼、流動層燃焼）、その他各種ボイラ
- ・対象燃料：石炭専焼、石炭/バイオマス混焼、石炭/副生燃料混焼、重油/副生燃料混焼
- ・燃料削減率（CO<sub>2</sub>削減率）：0.5～1.5%
- ・特徴：
  - ①AI（人工知能）を組み込んだ自己学習機能により、燃料制御を最適化する。
  - ②プラントの制御性が安定し、高い省エネ性能を発揮する。



外観

### 2. 台湾プラスチック社 (Formosa Plastics Corporation) 概要

1954年に王永慶・王永在兄弟によって設立された台湾の大型企業グループである FORMOSA PLASTICS GROUP (以下 FPG : 台湾プラスチックグループ、台塑集団) の中核会社。

FPG の総資産は 4 兆台湾ドル、総従業員は 11 万人を超える、石油化学から製鉄、電子、機械、繊維、医療、バイオテクノロジー等多岐に渡る。